

国際スケート連盟コミュニケーション第2468号

アイス・ダンス(2022年8月31日更新)

技術規程の要件 2022～2023シーズン

技術規程の一部は、毎年、アイス・ダンス技術委員会より発表されることとなっており、**それ以外の規定は、すべて、特別規程および技術規程に記載されることとなっている。**

- － 以下の要件は、技術規程において、毎年発表することが定められている。
 - ・ リズム・ダンスのリズムあるいはテーマと必須要素(パターン・ダンス要素のキー・ポイントとキー・ポイント特徴を含む)、ガイドライン—ジュニア／シニア
 - ・ フリー・ダンスの必須要素—ジュニア／シニア
- － ノービスに関する規定は、すべて、ISUコミュニケーション第2463号、「アイス・ダンス—国際ノービス競技会のガイドライン(2022～2023シーズン)」の最新版に記載される。
- － 現行の技術要件および価値尺度表(SOV)に対する改訂(2022年7月1日発効)は、後日、別のコミュニケーションで公表する。

トゥブベージェン,
2022年4月19日
ローザンヌ,

ISU会長 Jan Dijkema
ISU専務理事 Fredi Schmid

1. リズム・ダンスの要件(2022～2023シーズン)

1. リズム

リズムおよび／またはテーマは、アイス・ダンス技術委員会が年に1回、シーズンごとに選定すると規程第709条第1項a)に定められている。2022～2023シーズンについては、以下のリズムが選定された。

ジュニア:タンゴ+以下のダンススタイルから少なくとも1つ——パソ・ドブレ, フラメンコ, スペニッシュワルツ, ファンダンゴ, ボレロ, ホタ, セビリャーナス、ミロンガ

- ・ パターン・ダンス要素——アルゼンチン・タンゴ — タンゴのリズムで滑ること。テンポは4拍子24小節／分(96拍／分)±2拍／分の範囲とする。

シニア:ラテンダンススタイル:サルサ, バチャータ, メレンゲ, マンボ, チャチャ, ルンバ, サンバから異なるダンススタイル／リズム2種類以上

- ・ パターン・ダンス・タイプ・ステップ・シーケンスとステップ・シーケンスは異なるラテンスタイル／リズムで滑ること。

注)スポーツ倫理の観点から、攻撃的な歌詞や不快感をもたらす歌詞が入っている音楽は、アイス・ダンス競技に用いることができない。

仕様:

- ・ パターン・ダンス要素アルゼンチン・タンゴの説明, 表, ダイアグラム, 説明, 表, ダイアグラムは『ISUアイス・ダンス・ハンドブック2003』に記載されている。

1.2 リズム・ダンス – 必須要素(2022～2023シーズン) – ジュニア／シニア

要素	
ジュニアのリズム・ダンス パターン・ダンス要素	<ul style="list-style-type: none"> アルゼンチン・タンゴ2セクション:タンゴのリズム／スタイルで滑ること. テンポは4拍子24小節／分(96拍／分)±2拍／分の範囲とする. 1AT:ステップ#1-18 2AT:ステップ#19-31 <p>この2セクションはどちらを先に滑ってもかまわない. また, 続けて滑っても別々に滑ってもかまわない. ただし, 1ATのステップ#1はジャッジの左側で滑らなければならない, 2ATのステップ#19はジャッジの右側で滑らなければならない.</p> <p>注:ホールドのバリエーションは自由である. ステップ#13-15ではロング・アクシスを横切ってもよい.</p>
シニアのリズム・ダンス パターン・ダンス・タイプ・ステップ・シーケンス スタイルD(PSt)	<ul style="list-style-type: none"> パターン・ダンス・タイプ・ステップ・シーケンス(PSt), (スタイルD)が1つ: リズム:ステップ・シーケンス(スタイルB)で選んだのとは異なるリズム／スタイルで滑ること. 時間:フレーズ単位(数は問わない) パターン:リンクのいずれかのショート・アクシスでいったんストップしてから始め, 逆サイドのショート・アクシス上で終わること. パターン中, ループ1回が許される(回転方向は問わない. またその際, ロング・アクシスを横切ってもよい) ストップ:PSTスタートの時点で1回必要(許可されたストップとしてカウントされる) ホールド:ホールドを変更するあいだも含め, 常にふれあっている状態でなければならない(つなぎの振り付けとしてツイズルをするあいだを除く) <p>技術要件:パートナーそれぞれが異なる難しいターン(ロッカー, カウンター, チョクトウ, フォワード・アウトサイド・モホーク)2種類を行うこと. (女性がロッカーとチョクトウ, 男性がカウンターとフォワード・アウトサイド・モホークなど). パートナーそれぞれについて, 前記難しいターンのうち, 試みた順番で最初の2種類のみがレベルの考慮に用いられる. 同じ難しいターンを追加で試みても, そちらは無視される. なお, 前記難しいターンをふたり同時に行ってはならない. ふたり同時に難しいターンを行った場合, そのターンは, パートナーのいずれについてもレベルに考慮されない.</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下の行為は許されない. <ul style="list-style-type: none"> ストップ(PStスタートを示す最初だけはストップしてよい. なお, ここで5秒以上ストップした場合, プログラム中でそれ以外にストップすることはできなくなる) セパレーション(つなぎの振り付けとしてツイズルをするあいだを除く) レトログレッション ハンド・イン・ハンド・ホールド – 腕を完全に伸ばした状態のものは許されない <p>PStは, ふたりを合算したレベルで一つのユニットとして評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> コレオグラフィック・リズム・シーケンス リズム:ラテンのリズム／スタイルで滑り, 選んだリズムの「スタイル」で演技すること. ホールド(s):腕を完全に伸ばした状態のハンド・イン・ハンドを含め, 常にふれあっている状態でなければならない. ただし, セパレーションが特別に許されている部分は除く. パターン:- ショート・アクシス上からスタートする <ul style="list-style-type: none"> ショート・アクシスから左右いずれかに10メートル進む フェンスからフェンスまで使うこと(両サイドともフェンスまで2メートル以内にパートナーのいずれかが入れば, フェンスからフェンスまでの要件は満たしたものとみなす) レトログレッションは許される ループは許される <p>セパレーション(s) - 許されるのは腕の長さの2倍まで, 音楽1小節まで ストップ(s) – 5秒以下(これは許可されたストップとしてカウントされず, 各回のストップが5秒以下であれば何回ストップしてもよい) コレオグラフィック・リズム・シーケンスはコレオグラフィック要素として評価される</p>
ダンス・リフト	<ul style="list-style-type: none"> ショート・リフト1回まで. 7秒以下.

ステップ・シーケンス	<ul style="list-style-type: none"> ステップ・シーケンス1つ。イン・ホールド、ノット・タッチング、あるいは、両者の組み合わせ(スタイルB) スタイルBの仕様,リズム・ダンス: パターン・ダンス要素(ジュニア)やパターン・ダンス・タイプ・ステップ・シーケンス(シニア)で選んだのとは異なるリズム／スタイルで滑ること。 パターンは、ミッドラインかダイアゴナルでなければならない。 レトログレッションは許されない。 セパレーションは、両手間隔以内なら許される。 ループは許されない。 ハンド・イン・ハンド・ホールドー腕が完全に伸びたものは許されない ストップー1回、5秒以内なら許される(許可されたストップとしてカウントされる) <p>ステップ・シーケンスは、女性のステップ・シーケンスレベルと男性のステップ・シーケンスレベルの基礎値を合計し、GOEを適用する形で、全体をまとめて評価する。</p>
シーケンシャル・ツイズル	<ul style="list-style-type: none"> セット・オブ・シーケンシャル・ツイズル1セット パートナーそれぞれが、2回以上、ツイズルをすること、また、ツイズル間にコンタクトがないこと ツイズル間のステップは1回までとする(ツイズル間で両足をつき、プッシュおよび／または体重移動をする動作は、毎回、1ステップとみなす) <p>セット・オブ・シーケンシャル・ツイズルは、女性のセット・オブ・シーケンシャル・ツイズルレベルと男性のセット・オブ・シーケンシャル・ツイズルレベルの基礎値を合計し、GOEを適用する形で、全体をまとめて評価する。</p>

1.3 キー・ポイントおよびキー・ポイントの特徴ージュニアのパターン・ダンス要素(2022～2023シーズン)

アルゼンチン・タンゴ:キー・ポイント

パターン・ダンス要素 (1AT) ステップ1-18	キー・ポイント1 女性のステップ7-10 (LFO, XF-RFO, XB-LFIO, XB-RFIO)	キー・ポイント2 男性のステップ7-10 (LFO, XF-RFO, XB-LFIO, XB-RFI-Ctr)	キー・ポイント3 女性のステップ13-15 (CR- RFO3, LBO, RFO)	キー・ポイント4 男性のステップ13-15 (CR-LBO, RFO3, LBO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なチェンジ・エッジ	1. 正確なエッジ 2. 正確なチェンジ・エッジ 3. 正確なターン (#10)	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. 正確なクロスロールの動き	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. 正確なクロスロールの動き
パターン・ダンス要素 (2AT) ステップ19-31	キー・ポイント1 女性のステップ23-24 (LFO Sw-Tw1 (カウント4と1の間), RFO)	キー・ポイント2 男性のステップ23-24 (LFO Sw-OpCho, RBI (カウント4と1の間), LBO)	キー・ポイント3 女性のステップ31 CR-LBO-SwR/RFI (カウント4と1の間))	キー・ポイント4 男性のステップ31 (CR-RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン	1. 正確なエッジ 2. 正確なクロス・ロールの動き	1. 正確なエッジ 2. 正確なクロス・ロールの動き

* クロス・ロール(フォワード／バックワード)ー要件／説明: スケーティング・フットの脇にフリー・レッグを通し、次なるアウトサイド・カーブへとロールする動き。このとき、体重は、ロールする動きになるように、アウトサイド・カーブから新しいアウトサイド・カーブへと移動する。

**クロス・ロールでは、フリー・フットをスケーティング・ブレード／フットのすぐ横を通し、その前あるいは後ろで新たなスケーティング・ブレード／フットとして氷面に置く。新たなスケーティング・ブレードを氷面に置く際、アウトサイド・エッジとなっている必要はない。

注: 次のステップに向けたプッシュ／トランジションの準備をするため、ステップ最後の1/2ビートはチェンジエッジとなってもかまわない(キー・ポイントの例: 1AT - キー・ポイント3&4, 2AT - キー・ポイント4)

注: ステップ23は左アウトサイド・エッジで、フォワード、時計回りの「ツイズル・ライク・モーション」Tw1で終わる。女性の体は完全に1回転回り続けなければならないが、スケーティング・フットはフルターンする前にRFOへステップフォワードしてもよい。

一般的注意事項) ダンスの第1ステップは、フレーズの第1ビートで始めること。アルゼンチン・タンゴではこれが求められる。

1.4 リズム・ダンス – 要件／制限(2022～2023シーズン)

	要件／制限	違反
長さ	シニア／ジュニア： 2分50秒±10秒	演技時間： レフェリーによる減点 5秒までの過不足ごとに-1.0
一般的要件	リズム・ダンスは、アイス・ダンス技術委員会がシーズンごとに指定するリズムおよび／またはテーマに即したダンス音楽に合わせ、カップルが創作するダンスである。リズム・ダンスには、以下のことが求められる。 i. 音楽、選んだダンスリズムおよび／またはテーマの特徴を反映していること ii. バランスとなめらかな滑り、フロー、パワーとスピード、ユニゾンのほか、多様なステップ、ターン(スケートらしい動き)、動作を正確・完全に行うことで技術力を示し、氷上の演技へと昇華されていること iii. 調和と空間把握によりユニゾンをもって演技されていること iv. 音楽のフレーズに合っていること	
音楽	- リズム・ダンスの音楽はボーカル付きでもよいが、スポーツ種目であるアイス・ダンスにふさわしいものでなくてはならない。 - 音楽は、指定されたリズムおよび／またはテーマに合ったものを、また指定がある場合は指定されたテンポに合ったものを選ぶなくてはならない。 - 使用できるのは、リズムカルなビートが聞こえるダンス音楽のみである。プログラムの冒頭10秒までは、リズムカルなビートが聞こえなくてもよい。	音楽の要件： レフェリーとジャッジによる減点 プログラム全体に対して-2.0ーリズムが正しくない、ビートが聞こえない レフェリーによる減点、プログラム全体に対して-1.0ーテンポが指定に違反している
パターン	-今シーズンのパターンはほぼ一定方向に回るものでなければならず、かつ、リンク両端、フェンスから30メートル(ショート・アクシス)以内の位置で、1回ずつ、氷面のロング・アクシスを横切るものでなければならない。 -加えて、スタイルBステップ・シーケンスの入りおよび／または出で1回、また、パターン・ダンス要素の入りで1回、ロング・アクシスを横切ることができる。 -ループは、ロング・アクシスを横切らないかぎり、向きを問わず許される(PSt中は例外)	
ストップ	-計時が始まったあと、演技の最初や最後に10秒間を超えて1箇所にとどまることは許されない。 -演技中：5秒以下の完全なストップ2回、または、10秒以下の完全なストップ1回が許される。 -ダンス・スピンや移動を伴わないコレオグラフィック・スピニング・ムーブメントはストップとみなされる。	振り付けに関する制限： (パターン/ストップ/セパレーション/手で氷に触れる)
分離	- パートナー同士は、ホールドの変更を行う際とセパレーションを要する必須要素を行う際を除き、互いに離れてはならない。 - このようなセパレーションで許される距離は両手間隔以内である。 - ホールドの変更およびつなぎ要素としてのターンは音楽の1小節を超えてはならない。 - 演技の最初および／または最後におけるセパレーションは10秒まで許される。距離に制限はない。	レフェリーとジャッジによる減点 プログラム全体に対して-1.0
手で氷に触れる	手で氷に触れることは許されない	
コスチュームおよび小道具	-節度と品位のあるもので、過度に肌を出したように見えるものであってはならず、スポーツ競技会に適したものでなければならない。芝居じみていたり、けばけばしいデザインのものとは許されない。ただし、選んだ音楽の特徴を反映する衣装とすることはかまわない。 -男性は下まで長いズボンを着用しなければならない。 -女性はズボン着用でもよい。 -アクセサリや小道具は許されない。	コスチュームおよび小道具： レフェリーとジャッジによる減点 プログラム全体に対して-1.0

2. フリー・ダンスの要件

1. フリー・ダンスー国際ノービス競技会の要件

2022～2023シーズンにおいて、必須要素は、すべて、ISUノービスコミュニケーションによる。

2. フリー・ダンスー必須要素(2022～2023シーズン、ジュニア／シニア)

要素	ジュニア	シニア
ダンス・リフト	<p>ショート・リフト(各回7秒以下)2種類以下、 あるいは コンビネーション・リフト(合計12秒以下)1回</p> <p>RDショート・リフトにおけるリフトされたパートナーの難しいポーズおよびポーズ変更(オプションaまたはb)は、FDで行われる同種類のショート・リフトともコンビネーション・リフトに含まれる同種類のリフトの一部とも異なるものでなければならない。同種類のリフトで同じ難しいポーズやポーズ変更(オプションaまたはb)が行われた場合、FD側はシンプルなポーズ／ポーズ変更とみなす。</p>	<p>ショート・リフト(各回7秒以下)3種類以下、 あるいは ショート・リフト(7秒以下)1回とコンビネーション・リフト(合計12秒以下)1回</p> <p>(ショート・リフトはコンビネーション・リフトに使われていない種類のものでなければならない)</p> <p>RDショート・リフトにおけるリフトされたパートナーの難しいポーズおよびポーズ変更(オプションaまたはb)は、FDで行われる同種類のショート・リフトともコンビネーション・リフトに含まれる同種類のリフトの一部とも異なるものでなければならない。同種類のリフトで同じ難しいポーズやポーズ変更(オプションaまたはb)が行われた場合、FD側はシンプルなポーズ／ポーズ変更とみなす。</p>
ダンス・スピン(DSp)	<p>・ ダンス・スピン1回 ・ 2022～2023シーズンの仕様</p> <p>ダンス・スピン(DSp)ーカップルによるスピン。ホールドは問わない。回転軸共通、片足で、移動しないこと。足換えはパートナーの一方あるいは両方ともが行ってよい。</p>	
ステップ・シーケンス:種類:ストレート・ラインまたはカーブ	<p>・ イン・ホールドのステップ・シーケンス1回(スタイルB) ・ スタイルBの仕様(2022～2023シーズン、フリー・ダンス)</p> <p>レトログレッション-1回は許される。ただし、音楽2小節を超えないこと</p> <p>許されないこと:- ストップ - ループ - 腕を完全に伸ばしたハンド・イン・ハンド・ホールドは許されない - 両手間隔および／または5秒を超えるセパレーション</p> <p>ステップ・シーケンス(スタイルB)のパターンは、選んだパターンの基本形状やそれらしさが維持されていなければならない。</p> <p>ステップ・シーケンスは、女性のステップ・シーケンスレベルと男性のステップ・シーケンスレベルの基礎値を合計し、GOEを適用する形で、全体をまとめて評価する。</p>	
ワン・フット・ターン・シーケンス(OFT)1回	<p>・ ノット・タッチングのワン・フット・ターン・シーケンス1回(FDオプション)</p> <p>両パートナーとも片足で難しいターンを行っていく。なお、最初の難しいターンはふたり同時にスタートしなければならない。その後の難しいターンは、ふたり同時になくてもよい。</p> <p>ワン・フット・ターン・シーケンスは、女性のワン・フット・ターン・シーケンスレベルと男性のワン・フット・ターン・シーケンスレベルの基礎値を合計し、GOEを適用する形で、全体をまとめて評価する。</p>	
シンクロナイズド・ツイズル	<p>・ セット・オブ・シンクロナイズド・ツイズル1回</p> <p>ー パートナーそれぞれが、2回以上、ツイズルをすること。最初のツイズルと2番目のツイズルをつなぐステップは2歩から4歩までとする。(ツイズル間で両足をつき、プッシュおよび／または体重移動をする動作は、毎回、1ステップとみなす)</p> <p>ー 最初のツイズルと2番目のツイズルの間のどこかで、パートナー同士がコンタクトしなければならない。</p> <p>セット・オブ・シンクロナイズド・ツイズルは、女性のセット・オブ・シンクロナイズド・ツイズルレベルと男性のセット・オブ・シンクロナイズド・ツイズルレベルの基礎値を合計し、GOEを適用する形で、全体をまとめて評価する。</p>	
コレオグラフィック要素	<p>以下から選んだコレオグラフィック要素2種類</p> <p>コレオグラフィック・リフト コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント <u>コレオグラフィック・アシステッド・ジャンプ・ムーブメント</u> コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンス</p>	<p>以下から選んだコレオグラフィック要素3種類</p> <p>コレオグラフィック・リフト コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント <u>コレオグラフィック・アシステッド・ジャンプ・ムーブメント</u> コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンス</p>

コレオグラフィック要素の定義

- ・ **コレオグラフィック・リフト**: 3秒以上、10秒以内のダンス・リフト。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 必須のダンス・リフトがすべて終わったあとに行う。

- ・ **コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント**: プログラムのどこかで行われる回転動作で、ホールドしたまま両パートナーとも続けて2回転以上するもの。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 片足で行う、両足で行う、パートナーの一方が2回転未満の間持ち上げられている、あるいは、これら3つの組み合わせ。
- 回転軸は共通であること。軸の移動はかまわない。

- ・ **コレオグラフィック・アシステッド・ジャンプ・ムーブメント**: アシスト・ジャンプを3回以上続けて行う。プログラムのどこで行ってもよい。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 続けて3回以上行うこと(種類は同じでも異なってもよい)
- 各回のアシスト・ジャンプにおいて、アシストするパートナーが1回転を超えて回らないこと
- アシストされるパートナーが氷面を離れる時間が3秒未満であること
- アシスト・ジャンプ間が3ステップ以内であること
- ジャンプは男女どちらが行ってもよい

- ・ **コレオグラフィック・ツイズリング・ムーブメント**: 必須のセット・オブ・ツイズルを行った後に行われるツイズル動作で2つの部分からなるもの。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 2つの部分とも: 片足で行う、両足で行う、またはこれらの組み合わせ
- 最初の部分: 2人同時に続けて2回転以上し、かつ、2人とも移動しなくてはならない(1箇所には留まらないこと)
- 2つ目の部分: パートナーの少なくとも一方は続けて2回転以上しなくてはならない。また、ツイズリング・ムーブメントの1つ目から2つ目までは3ステップ以内でなくてはならない。移動は、パートナーの一方または両方とも、1箇所には留まるか、移動するか、またはこれらの組み合わせでよい。

- ・ **コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント**: プログラムのどこで行ってもよい。両パートナーとも、氷上をスライドしていくスライディング動作を行う。

ただし、以下の要件を満たすこと。

- 両パートナー同時に体のどこかを動かし、継続的で制御されたスライディングを2秒以上にわたって行う。コレオグラフィック・スライディング・ムーブメントの始まりと終わりは、2人同時にでなくともよい。
- イン・ホールド、ノット・タッチング、その組み合わせのいずれでもよく、また、回転してもよい。
- この要素中に制御されたスライディングが両膝など体のどこかで行われても、テクニカルパネルは、これを転倒や違反動作とみなさない。
- スライディング動作は、両膝をついたり、氷上に座ったり横たわったりした状態で止まって終わることができない。その場合は転倒や違反動作として認定され、減点が適用される。
- 2人同時に基本のランジ動作を行っても、それは、コレオグラフィック・スライディング・ムーブメントとみなさない。

- ・ **コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンス**

以下の要件を満たすこと。

- プログラムのどこで行ってもよい。
- ショート・アクシス周辺(ショート・アクシスから10メートル以内)に位置しなければならない。また、フェンスからフェンスへ進まなければならない。両サイドともフェンスまで2メートル以内にパートナーのいずれかが入れば、フェンスからフェンスまでの要件は満たしたものとみなす。
- ホールドはしてもなくてもよい。
- コントロールした形であれば体のどこかが氷に触れてもよい。(例: 両膝をつく、両手を使うなど)
- コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスでの始まりまたは終わりに、フェンスに触れる事も許される
- パートナー間の距離は腕4本分(4メートル)まで許される。

2.3 フリー・ダンス – 要件／制限(2022～2023シーズン)

	要件／制限	違反
長さ	シニア： 4分±10秒 ジュニア： 3分±10秒	演技時間： レフェリーによる減点 -5秒までの過不足ごとに-1.0
音楽	<ul style="list-style-type: none"> - クラシック音楽を含め、音楽は、興味深く、かつ色彩豊かで楽しめ、さらにはさまざまな雰囲気や盛り上がりのあるダンス・プログラムとなるように編集、編曲されていなければならない。 - 少なくとも1回、テンポ／リズムおよび表現がはっきり変化しなければならない。変化は徐々にでも急激にでもかまわない。 注：テンポ／リズムおよび表現が同じ音楽がプログラムのおよそ75%以上を占めてはならない。 - フリー・ダンスの音楽はボーカル付きでもよいが、スポーツ種目であるアイス・ダンスにふさわしいものでなければならない。 - リズミカルなビートとメロディの両方が聞き取れるか、あるいは、リズミカルなビートのみが聞き取れるものでなければならない。メロディのみであってはならない。ボーカルを含むのはかまわない。 - プログラムの最初または最後、10秒以内であれば、リズミカルなビートが聞き取れなくてもよい。 - プログラム中も、10秒以内であれば、リズミカルなビートが聞き取れなくてもよい。 	音楽の要件： レフェリーとジャッジによる減点 プログラム全体に対して-2.0
ストップ	<ul style="list-style-type: none"> - 計時が始まったあと、10秒間を超えて1箇所にとどまることは許されない。 - 演技中：5秒までの完全なストップが回数制限なく許される。 	振り付けに関する制限：
分離	<ul style="list-style-type: none"> - つなぎのフットワークや動作におけるセパレーションの回数に制限はない。 - セパレーションで許される距離は両手間隔以内である(コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスは例外)。 - セパレーションの時間は毎回5秒までとする(必須要素は例外)。 - 演技の最初および／または最後におけるセパレーションは10秒まで許される。距離に制限はない。 	(ストップ／セパレーション／手で氷に触れる) レフェリーとジャッジによる減点 プログラム全体に対して-1.0
手で氷に触れる	手で氷に触れることは許されない(コレオグラフィック・スライディング・ムーブメント、コレオグラフィック・キャラクター・ステップ・シーケンスは例外)	
コスチュームおよび小道具	<ul style="list-style-type: none"> - 節度と品位のあるもので、過度に肌を出したように見えるものであってはならず、スポーツ競技会に適したものでなければならない。芝居じみていたり、けばけばしいデザインのもののは許されない。ただし、選んだ音楽の特徴を反映する衣装とすることはかまわない。 - 男性は下まで長いズボンを着用しなければならない。 - 女性はズボン着用でもよい。 - アクセサリーや小道具は許されない。 	コスチュームおよび小道具： レフェリーとジャッジによる減点 プログラム全体に対して-1.0